

取扱説明書

# 吉河トリセツ

Vol.2

私のまちの「今」がわかる

吉河トリセツ



わたしたちの心に残るまちの風景



My Favorite Place

自然の中に林立する鉄塔群



山根正巳さん  
(東山田在住)

約100万平方メートルの敷地に林立するKDDI八俣送信所の鉄塔群は小さな頃から身近にある風景です。この近くにある五十塚古墳群や西仁連川では、友人とよくカブトムシやサワガニ採りをして遊びました。幼い頃の思い出が詰まっている場所です。

古河駅西口通り

スレート瓦の三角屋根だった昔の古河駅が懐かしいです。1984年に地上2階の高架駅として新しく生まれ変わった古河駅。それに伴い駅周辺には高層ビルが建ち、道路も整備され歴史ある古都古河の玄関口として、今もなお多くの人たちが行き交っています。

My Favorite Place



鈴木路雄さん  
(横山町在住)



My Favorite Place

陸上競技場から見る夕焼け



成田藍さん  
(古河中等教育学校)

部活の練習で使っている陸上競技場の風景が好きです。苦楽を共にした仲間たちと過ごした、とても大切な場所だからです。頑張って練習した後に見るきれいな夕焼けは特にお気に入り。これからもこの場所です。皆さんの思い出を作りたいです。

丘里公園近くのヤシ並木

広い道路沿いにヤシの木が立ち並び、ここだけ少し南国の雰囲気開放的な気分になれる場所です。空気が澄んでいる日は真正面に筑波山が見えます。朝日が昇る早朝や空がオレンジに染まる夕方、普段とは違った印象でお気に入りです。

My Favorite Place



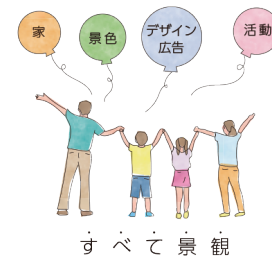
Koiちゃん  
(関戸在住)

My Favorite Regional Scenery Award

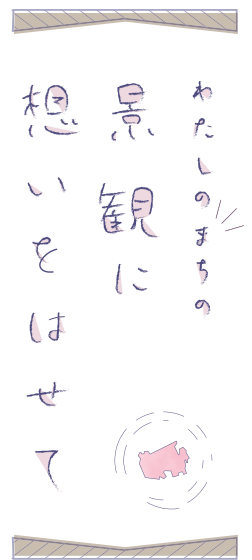


「あなたの好きな古河の風景は？」と聞かれたら、何を思い浮かべますか。歴史ある街並みやどこまでも広がる田畑、いつも通る街角の景色など、誰の記憶の中にもさまざまな思い出の風景が刻まれていることでしょう。

「風景」を「観」と書いて景観と読むように、私たちの生活の中にある風景は全てが景観であり、日々私たちの日常生活の中で作り出されています。今まで見過ごしてきた何気ない風景でも、思い出やエピソードのほか、そのまちの歴史や風土が重なることで、美しく印象的な景観へと変化するのです。



今回は、古河市景観賞を受賞した建物や市民活動などを中心に、誰かに教えたくなくなるような景観を紹介します。古河らしい景観を見つけたら、普段何気なく見ている風景に改めて目を向けてたりして、地域への愛着や誇りを深め、さらに古河を好きになりませんか。





巡ってみた感想

▼五月女菜七さん



まちの景観に目を向けながら街歩きをしたのは初めてでした。石畳が敷かれた風情ある小道や歴史ある建物と現代の建物が織りなす街並みはとても美しく、いつもとは違う古河の表情を見ることができました。

▼高田真優さん



普段なら見過ごしてしまふような場所も、視点を変えて街歩きをすることで、古河の新しい一面を垣間見ることができました。皆さんもぜひ、景観が作られる背景などを意識して街歩きをしてみたいかがでしょうか。



龍女が如く巡る  
景古  
観河  
さ駅  
ら西  
らぽ  
口

お休み処坂長で  
お買物

GALLERY & CAFE  
ヒュッゲ  
HYGGE (ミトハ写真館)



住所：中央町1-3-30

デンマーク語で居心地の良い雰囲気の意味する「HYGGE」を体感することができる滞り型の写真館。おいしいコーヒーを飲みながらアートに触れることができます

古河鍛冶町  
みらい蔵



住所：本町1-4-10

塩間屋として営まれていた歴史ある木造の店蔵・煉瓦蔵・座敷蔵をリノベーション。和食や洋食などの飲食店が営業する複合施設として連日にぎわっています

富岡蔵・酒井蔵



住所：本町1-3-40

駅西口の商家の街並みを守るため、富岡氏・酒井氏が市に蔵を寄贈。富岡蔵は平成25年に曳家工事が行われました。現在はイベントなどで活用されています

レストラン  
SUNROSE



住所：中央町3-2-5

昭和初期に建てられた商家の日本家屋をリノベーションしたレストラン。100年を超える樹木が織りなす庭の雰囲気と併せて、まるで別世界のように感じられます

ぬた屋  
鮎甘露煮店



住所：中央町3-8-5

明治30年から続く老舗の鮎甘露煮店。古河名物の鮎甘露煮をはじめ、アユやワカサギの甘露煮も販売しており、お店の前を通ると甘露煮の甘い香りが漂います

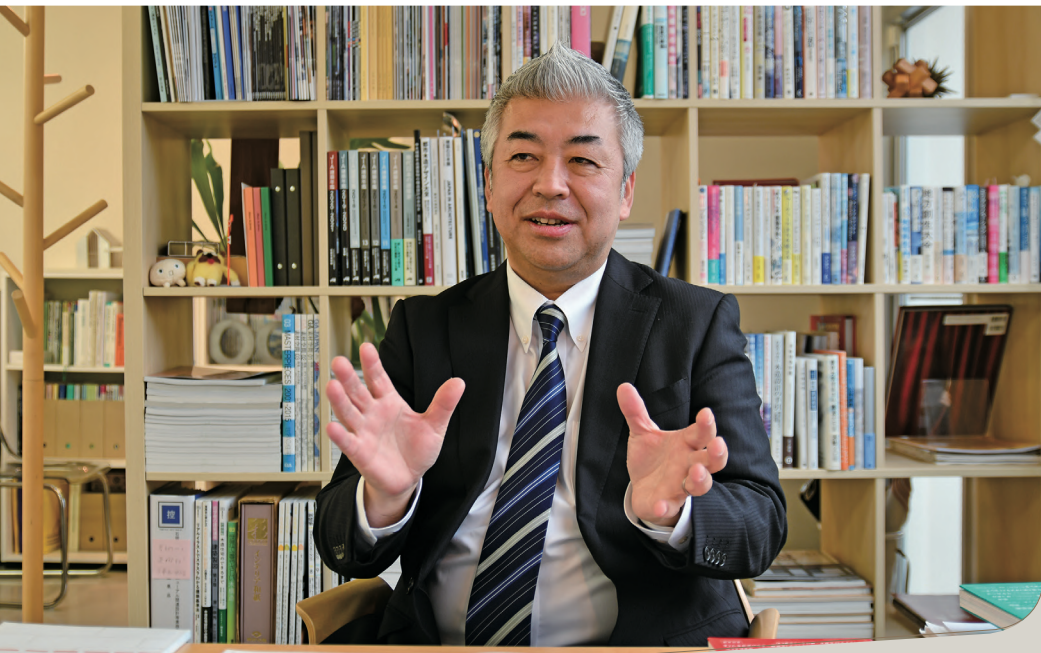
古河城お茶屋口跡に建つ  
陽明堂



住所：中央町3-3-1

古河藩主土井利勝が日光を参詣する将軍や大名をもてなすために茶屋を置いたとされるお茶屋口跡に建つ文房具店。船楫造りで作られた趣を感じられる建物です





Special Interview

## 人の想いが育てる まちの景観

素晴らしい景観は一朝一夕で作られるものではなく、建物の色や形、そこで暮らす人々の活動や紡いできた歴史などさまざまな要素が加わり、長い歳月をかけて形成されていきます。

これらの要素や一人一人の活動は小さな点なのかもしれませんが、その点と点が重なり合うことでまちが整い、住む人たちにとって居心地の良い場所に変化します。子どもの頃に触れた記憶に残る街並みは市民の誇りとなり、大人になっても決して忘れることはありません。きっかけは小さなことでも、誰もが関わることでできる「余白」を作っておけることで、コミュニティを通して地域と触れ合うことの楽しさを生み出すこと

ができ、人と人との交流が増えていくのだと思います。地域の絆がまち全体に広がっていくと、良いものを未来に残したい、活用したい、魅せたいといった意識が芽生えるのです。

景観を維持していく上で、良い物を残していくという気持ちはとても大切です。一方で、歴史もある良い景観の魅せ方や活用方法も考えていかなくてはなりません。古い建物を壊して新しい建物を作るだけではなく、まち全体で今ある景観を次の世代につなげていく意識を持ち、継続して景観を作っていくことが重要です。その積み重ねがやがて花開き、まち全体に素晴らしい景観を生み出すことできるよう。

### 古河市景観審議会委員 大山 早嗣

#### プロフィール

(株)大山都市建築設計 代表取締役、  
一級建築士、茨城県都市計画協会  
まちづくりアドバイザー、  
(一社)茨城県建築士事務所協会理事

## 景観への想いを 次・世・代 へつなぐ人たち



### 恩名下坪保全会

小さな子どもから高齢者まで、約30人のメンバーで地域の美しい田園風景を後世につなげる活動を行っている恩名下坪保全会。遊休農地を利用した花壇には四季折々の花々が植えられ、通行人の目を楽しませていきます。地域の人たちにとっても、コミュニケーションをとる憩いの場となっています。

### (一社)茨城県古民家再生協会

古民家の調査や再生等を行い、その土地の風土や景観を大切に、地域に残る日本の伝統建築を次の世代につなぐ活動をしている古民家再生協会。154年の歴史ある山川邸の補修を行い、さまざまなイベントを実施しながら活用しています。これからも地域の皆さんと協力して歴史ある古民家を大切に管理していきます。



### 大橋醤油店 諸味蔵

江戸時代末期からおよそ170年以上使用している諸味蔵と木おけを使い、醤油を製造している大橋醤油店。先祖代々受け継がれてきた酵母菌で昔ながらの醤油造りを続けています。明治維新や関東大震災を乗り越え、大切に守られてきた蔵と酵母菌で、これからもおいしい醤油を皆さんに届けていきます。

### 古河第一小学校 赤門

明治37年の建築以来、今日まで多くの子どもたちが通ってきた赤門。歴史ある赤門を次世代につなげてほしいという地域の人たちの思いから、学区内34自治会・住民からの寄付等を受け、従来の形を維持したまま耐震補強工事を行いました。これからも一小に通う児童たちを見守り続けます。





